

研修報告書⇒下関市議会（星出恒夫）

●地域包括システムの実践と課題

- ・日時：令和2年2月3日（月） 14時～17時
- ・場所：アットビジネスセンターPREMIUM 新大阪
- ・講師：鏡論淑徳大学コミュニティ政策学部教授
- ・内容

介護保険の給付と負担

- ・介護保険法第1条に目的が示されているが、要介護状態であっても、能力に応じ自立した生活を目指すもので、決して、身体的・精神的に何らのサービスが必要としないことあるいは、使うことを妨げるものではない。
しかし、近年では「自立支援介護」を推奨しており、できるだけ介護保険給付を使わない「自立」が強調されている。

保険料負担感

- ・同じ社会保険制度を採用している健康保険制度では、7700万人の加入者に対して全く給付を受けていない人は極めて少ないため、制度に対する理解がある。介護保険制度は92%の人が未使用であるため、月々5514円の負担をしていることが負担感となっている。

地域包括ケアシステムの構築

- ・段階の世代が75歳以上となる2025年を目途に住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を実現。
- ・今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも地域包括ケアシステムの構築が重要。

住民主体の通いの場等（地域介護予防活動支援事業）

- ・住民主体の通いの場の取組について、介護予防・日常生活支援総合事業のうち、一般介護予防事業の中で推進
- ・通いの場の数や参加率は増加・上昇傾向にあり、取組内容としては体操、茶話会、趣味活動の順が多い。

ケアマネジメントの流れ

- ・アセスメント（利用者の置かれている状況の把握、生活上の支障・要望などに関する情報を収集⇒ケアプラン（総合的な援助方針、目標を設定、目標達

●少子高齢化時代の健康対策

- ・日時：令和2年2月4日（火） 10時～12時30分
- ・場所：メルパルク京都
- ・講師：永田潤子大阪市立大学大学院都市経営研究科教授
- ・内容

高齢化社会の現状

- ・高齢化社会（65歳以上が7%）⇒1976年
- ・高齢社会（65歳以上が14%）⇒1994年
- ・超高齢社会（65歳以上が21%）⇒2007年
- ・2013年には4人に一人が65歳以上、2035年には3人に一人

どこまで伸びる平均寿命

- ・日本は健康診断の検診率が高いため、早期発見が行われている。
- ・将来推計では、2065年⇒男84.95、女91.35
- ・エビデンスのある情報は問題ない。そうでない場合は要注意

世界の高齢化率

- ・2015年現在、日本—26.6、スウェーデン—19.6、ドイツ—21.1、フランス—18.9、アメリカ—14.6

人口規模別の高齢化率

- ・将来的に人口規模別の高齢化率の格差が広がっていく傾向がある。
- ・日本の健康政策の課題⇒高齢者をいかに寝たきりにせずに元気に暮らせる社会を創っていくか。
- ・中学生や小学生の肥満度調査を行っているかが問題
- ・義務教育課程での健康対策は地方自治体としてどう取り組んでいるのか。

年齢別の医療費

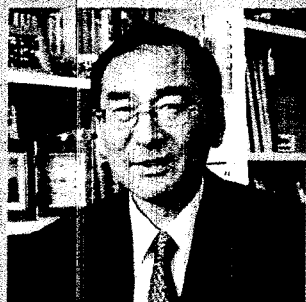
- ・高齢者は良いたんぱく質が必要。裕福なほど良質のたんぱく質を取っている。
- ・夏休みになるとやせる子がいる⇒給食がないことも一因として考えられる。

自治体における健康政策・健康づくり

- ・少子高齢社会、地方自治体の苦しい行財政状況、市民は受益者という硬直的な関係では持続不可能、健康は個人の変容がなければ実現できない。
- ・市民の行動変容を起こす政策（環境整備やアプローチ）が必要になる。
- ・歩くことによって、どういう指標を示すかを検討するのも面白いのではない

議員・職員のための

介護保険・地域包括ケアの 課題と展望 in 東京・大阪



講師 鏡諭(かがみ さとし)

【淑徳大学コミュニティ政策学部教授・学部長】

所沢市役所介護福祉課主査、高齢者支援課長、総合政策部政策審議担当参事を歴任し、2009年4月から現職。主な著作は「介護保険の強さと・脆さ」、「総括・介護保険の10年」、「自治体現場から見た介護保険」など多数。

10/21 (月) 10:00~13:00 東京

2/3 (月) 10:00~13:00 大阪

第8期介護保険 事業計画の展望

1. 第8期介護保険
事業計画へ向けての議論
2. 介護保険改正の方向性
3. 見直されるサービスの内容
4. この後進む負担増
5. 給付と負担の関係を
どのように考えるか
6. 介護人材の確保と施設
7. 高齢者は安心して
暮らすことが出来るのか

10/21 (月) 14:00~17:00 東京

2/3 (月) 14:00~17:00 大阪

地域包括ケアシステムの 実践と課題

1. 地域包括ケアシステムの考え方
2. 地域包括ケアシステムの課題
3. 地域包括ケアシステムの実践例
4. 介護予防日常生活支援
総合事業の今日的状況
5. 地域包括ケアを支える人材の発掘
6. 在宅医療を進めるために
7. 地域で安心して暮らせる仕組み